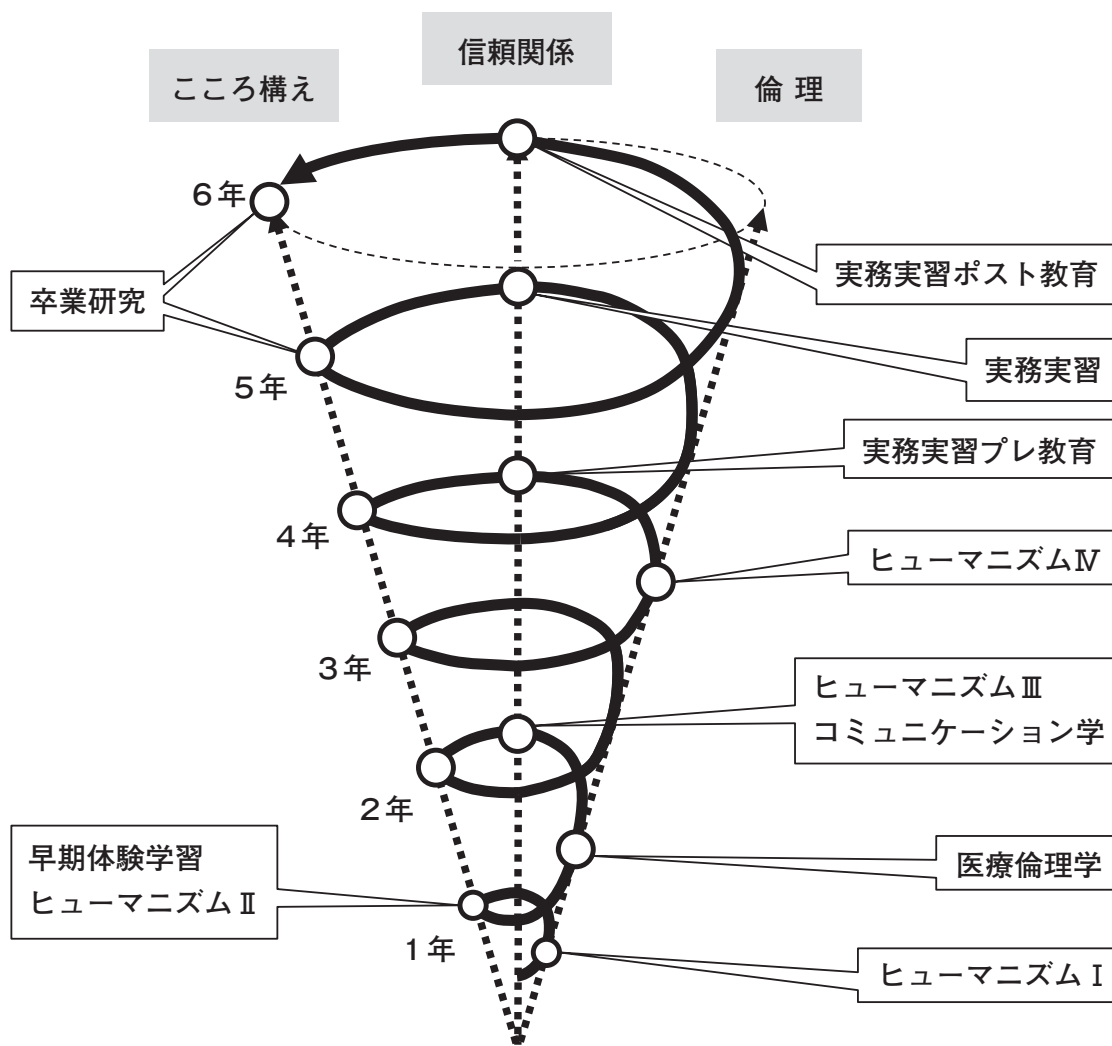


I. 医療人教育の基本的内容

1. ヒューマニズム教育・医療倫理教育

医療人として、薬剤師になることを自覚し、信頼関係を醸成する態度と共感的態度を修得し、さらに生涯にわたってそれらを向上させる習慣を身につける。

	GIO	醸成される「基本的資質」
倫理	生命の尊さを認識、人の誕生から死までの間に起こりうる様々な問題を通して医療における倫理の重要性を学ぶ。	患者・生活者本位の視点
こころ構え	常に社会に目を向け、生涯にわたって医療を通して社会に貢献できるようになるために必要なこころ構えを身につける。	薬剤師としての心構え、自己研鑽、教育能力
信頼関係	医療の担い手の一員である薬学専門家として、患者、同僚、地域社会との信頼関係を確立できるようになるために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能、態度を修得する。	コミュニケーション能力、チーム医療への参画



2. 教養教育・薬学準備教育

- 見識ある人間としての基礎を築くために、人文科学、社会科学及び自然科学などを広く学び、物事を多角的にみる能力及び豊かな人間性・知性を養う。
- 薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基本的知識と技能を修得する。
- 薬学を学ぶ上で必要な物理学の基礎を身につけるために、物質および物体間の相互作用などに関する基本的知識を修得する。
- 薬学を学ぶ上で必要な化学の基礎力を身につけるために、原子の構成から分子の成り立ちなどに関する基本的知識と技能を修得する。
- 薬学を学ぶ上で必要な生物の基礎力を身につけるために、細胞、組織、器官、個体、集団レベルでの生命現象と、誕生から死への過程に関する基本的知識、技能、態度を身につける。
- 薬学を学ぶ上で基礎となる数学・統計学に関する基本的知識を修得し、それらを薬学領域で応用するための基本的技能を身につける。
- 情報の授受に効果的なコンピューターの利用法を理解し、必要なデータや情報を有効活用できるようになるために、インターネットを利用した情報の収集、開示、データベースの使用法、応用などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

薬学教育準備科目(薬学準備教育)

ヒューマニズムⅠ・Ⅱ(1年前・後期)
ヒューマニズムⅢ(2年後期)
ヒューマニズムⅣ(3年後期)
イントロダクション(1年後期)
早期体験学習(1年前期)
医療倫理学(1年後期)
コミュニケーション学(2年後期)
地球環境概論(1年前期)
英語Ⅰ・Ⅱ(1年前・後期)
数学入門Ⅰ・Ⅱ(1年前・後期)
化学入門Ⅰ・Ⅱ(1年前・後期)
物理学入門Ⅰ・Ⅱ(1年前・後期)
生物学入門Ⅰ・Ⅱ(1年前・後期)
情報リテラシー(1年前期)
国語表現論(1年前期)

選択科目(教養教育)

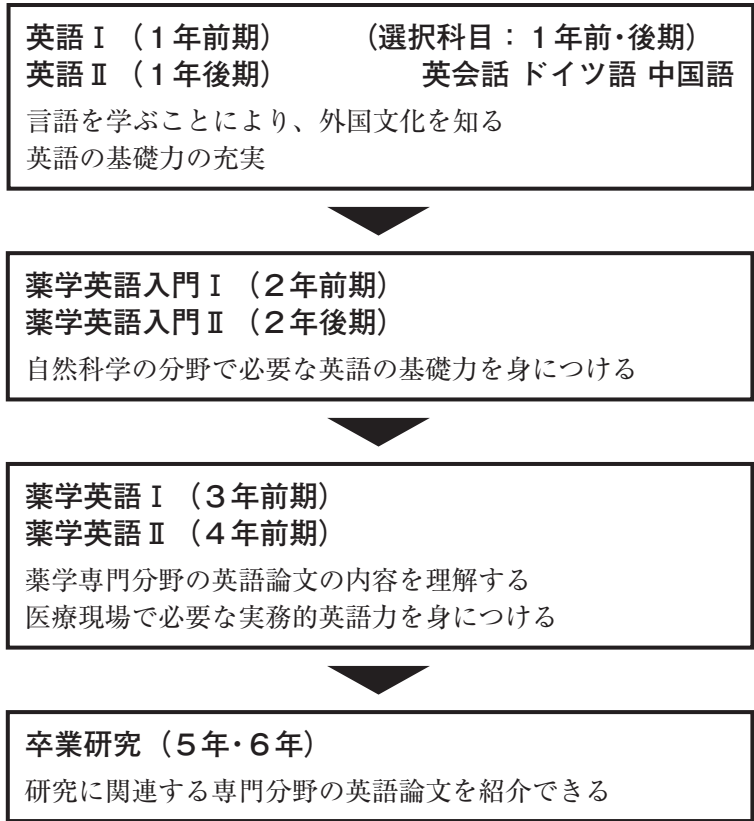
哲学(1年前・後期)
心理学(1年前・後期)
法学(1年前・後期)
経営学(1年前・後期)
社会福祉学(1年前・後期)
英会話(1年前・後期)
ドイツ語(1年前・後期)
中国語(1年前・後期)
情報処理演習Ⅰ(2年前期)
情報処理演習Ⅱ(2年後期)

薬学教育専門科目

3. 語学教育

社会のグローバル化に対応するための国際的感覚を養う。

薬学に関連した専門誌、学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学会会議などで必要とされる実用的及び専門的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。



4. 医療安全教育

薬害、医療過誤、医療事故の概要、背景及びその後の対応を知る。

医薬品の安全使用の観点から捉えた、薬害・医療過誤・医療事故防止を理解する。

ヒューマニズムⅠ（1年前期） 薬害被害者による講演会	薬物代謝安全性学（3年後期） 医薬品の安全使用	実務実習プレ教育（4年） 医療過誤 リスクマネジメントなど
イントロダクション（1年後期） 薬害 薬物乱用	薬事関係法規Ⅰ（4年前期） 医薬品副作用被害救済制度	実務実習（5年） 医療過誤 リスクマネジメントなど
薬物治療学Ⅰ（2年後期） 医薬品の適正使用	医薬品情報学（3年前期） 医薬品医療機器等安全性情報報告 医薬品副作用被害救済制度 プレアボイドなど	実務実習ポスト教育（6年前期） 医療過誤 リスクマネジメントなど
薬物治療学ⅡA・ⅡB（3年前・後期） 医薬品の適正使用	臨床薬学Ⅰ（3年前期） 医療の安全管理 リスクマネジメント	実務系実習（4年後期） リスクマネジメント （抗悪性腫瘍薬のケミカルハザード回避、血漿分画製剤の管理と取扱いなど）
薬物治療学ⅢA・ⅢB（4年前・後期） 医薬品の適正使用	処方解析学Ⅰ（4年前期） 医薬品の適正使用など	医薬品開発論（5年前期） 薬害 医薬品の安全性
臨床薬理学（6年前期） 薬害 医薬品の毒性	処方解析学Ⅱ（4年後期） 医薬品の適正使用など	



5. 生涯学習の意欲醸成

医療人として、社会的責任を果たすための生涯学習の重要性を認識する。

早期体験学習（1年前期） 基礎薬学研究について 臨床薬学研究について 病院薬剤師による講話 薬局薬剤師による講話 製薬会社関係者による講話 健康衛生研究所関係者による講話など	実務実習ポスト教育（6年前期） 生涯学習
	ヒューマニズムⅡ（1年後期） 生涯学習

その他

在学時から、埼玉薬学教育研修会等の卒後研修会への参加を促し、生涯学習に対する向学意欲の醸成を図る。

6. 自己表現能力・問題解決能力醸成のための教育

- 自分の考えや意見を適切に表現するための基本的知識、技能、態度を習得する。
- 自己研鑽・参加型学習の態度を醸成する。

